



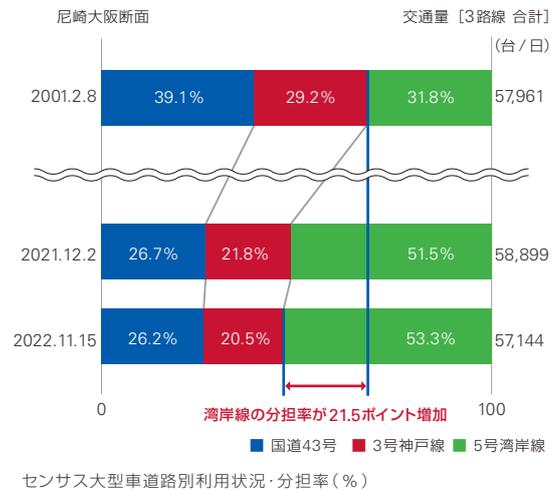
## より良い都市環境の創造と共生

阪神高速グループでは、遮音壁の設置、舗装の改良や環境ロードプライシングの実施などを通じ、騒音の低減や大気質の改善に取り組んでいます。また、地域との連携や社会への貢献のため、景観などの周辺環境との調和に取り組んでいます。

### 沿道環境の保全

#### 環境ロードプライシングの実施

環境ロードプライシングとは、並行する有料道路の路線間での料金格差などで、都心部や住宅地への交通流入を抑制する政策手法であり、沿道環境の改善を図る施策です。阪神高速では、国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善のため、2001年11月から5号湾岸線の貨物車などの料金を割り引く「環境ロードプライシング割引」を実施しています。これにより交通転換が進み、2022年11月には5号湾岸線の分担率が実施前に比べて21.5ポイント増加し53.3%となっています。



## 環境啓発とコミュニケーション

環境行動に係るマネジメント(▶▶ P.18)を実施し、社員に対する環境啓発研修などの実施を通じて、環境に高い配慮ができる人材育成と社員の環境行動意識の向上に取り組んでいます。また、当社ホームページやSNS、環境イベントなどを通じて環境情報を積極的に発信し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図っています。

### 環境コミュニケーションの実施

#### 阪神高速グループの森づくり(生物多様性)

「尼崎21世紀の森構想」\*の拠点施設である尼崎の森中央緑地内での「阪神高速グループの森」づくりは6年目に入り、多様性豊かな15種類の苗木は順調に成長し、2023年3月には初めての間伐作業を行いました。森には昆虫や鳥が集まるなど、地域の生物多様性保全にも貢献しています。

\*「尼崎21世紀の森構想」とは、尼崎市南部の臨海地域(約1,000ha)で、森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを進めるため、市民・行政・企業などの参画と協働により、100年かけて森づくりを行うものです。



阪神高速グループの森